



2020年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2020年5月22日

上場会社名 日本コークス工業株式会社
 コード番号 3315 URL <http://www.n-coke.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鹿毛 和哉

問合せ先責任者 (役職名) 人事・総務部長 (氏名) 山下 伸一

TEL 03-5560-1311

定時株主総会開催予定日 2020年6月26日 配当支払開始予定日

2020年6月29日

有価証券報告書提出予定日 2020年6月26日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	107,408	11.4	1,607	75.9	989	83.2	28	99.1
2019年3月期	121,246	10.1	6,660	90.5	5,892	82.6	3,197	33.6

(注) 包括利益 2020年3月期 162百万円 (%) 2019年3月期 3,159百万円 (18.7%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	0.10		0.1	0.9	1.5
2019年3月期	10.82		6.8	5.0	5.5

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 百万円 2019年3月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	106,304	47,188	44.4	162.14
2019年3月期	122,233	48,217	39.4	165.68

(参考) 自己資本 2020年3月期 47,188百万円 2019年3月期 48,217百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	6,460	6,644	7,341	3,806
2019年3月期	10,278	4,610	626	11,350

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期		0.00		3.00	3.00	873	27.7	1.9
2020年3月期		0.00		1.00	1.00	291	1,000.0	0.6
2021年3月期(予想)								

(注) 2021年3月期の配当については未定です。配当予想額の開示が可能になった時点で速やかに開示する予定です。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計) 通期	44,000	21.6	1,100		700		0		0.00

(注) 2021年3月期通期の連結業績予想については、現時点では未定のため、記載していません。

詳細については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期	302,349,449 株	2019年3月期	302,349,449 株
期末自己株式数	2020年3月期	11,319,727 株	2019年3月期	11,318,601 株
期中平均株式数	2020年3月期	291,030,274 株	2019年3月期	295,493,761 株

(参考)個別業績の概要

2020年3月期の個別業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	97,274	12.8	715	87.5	257	95.0	378	
2019年3月期	111,596	11.1	5,736	140.1	5,159	127.4	2,849	34.7

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期	1.30	
2019年3月期	9.64	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	99,704	44,284	44.4	152.16
2019年3月期	115,511	45,579	39.5	156.62

(参考) 自己資本 2020年3月期 44,284百万円 2019年3月期 45,579百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 企業集団の状況	5
3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	6
4. 連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 連結貸借対照表	7
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	9
連結損益計算書	9
連結包括利益計算書	10
(3) 連結株主資本等変動計算書	11
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	13
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	15
(継続企業の前提に関する注記)	15
(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)	15
(会計方針の変更)	15
(セグメント情報等)	16
(1株当たり情報)	19
(重要な後発事象)	19
5. その他	20

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当期におけるわが国経済は、景気は緩やかな回復を続けてきましたが、海外経済の不確実性も依然として存在するなかで、第4四半期には、世界的な新型コロナウイルスによる感染症拡大の影響により、厳しい状況におかれまして。また、先行きについても、当面はこの状況が続くと見込まれており、内外経済を下げさせるリスクに十分注意する必要があります。

このような厳しい経済状況のもと、当社グループの業績は、主力のコークス事業において、前期に比べコークス製品市況の下落などにより、当期の連結売上高は、前期比138億3千7百万円減少の1,074億8百万円となりました。

利益面では、コークス製品市況およびコークス用原料炭価格の下落による、割高な在庫使用影響や利幅の減少などがあり、連結営業利益は、前期比50億5千2百万円減少の16億7百万円、連結経常利益は、前期比49億3百万円減少の9億8千9百万円となりました。

特別損益につきましては、固定資産売却益などによる特別利益1億1千万円に対し、固定資産除却損などにより、特別損失8億8千7百万円を計上いたしました。

これより、法人税等を差し引き、親会社株主に帰属する当期純利益は、前期比31億6千8百万円減少の2千8百万円となりました。

セグメントの概況

①コークス事業

コークス事業につきましては、当社グループの販売数量は、191万7千トンと前期比3万トンの減少となり、販売価格も、コークス製品市況の下落などにより、減収となりました。

利益につきましても、コークス製品市況およびコークス用原料炭価格の下落による影響などにより、減益となりました。

この結果、コークス事業の連結売上高は、684億6千万円（前期比118億1千4百万円減少）となり、連結営業損益は、8億1千1百万円の営業損失（前期は46億1千8百万円の営業利益）となりました。

②燃料販売事業

燃料販売事業につきましては、当社グループの販売数量は、151万7千トンと前期比5万2千トンの増加となりましたが、一般炭事業および石油コークス事業において、販売価格が下落したことなどにより、減収となりました。

この結果、燃料販売事業の連結売上高は、230億9千万円（前期比30億1千8百万円減少）となり、連結営業利益は、16億5千6百万円（前期比5千5百万円減少）となりました。

③総合エンジニアリング事業

化工機事業につきましては、受注増および利益率の改善により、増収・増益となりました。

資源リサイクル事業につきましては、廃棄物の有効利用と適正処理に引き続き傾注し、安定的な収益を維持しました。

産業機械事業につきましては、機械工事などの受注増加などにより、増収となりました。

この結果、総合エンジニアリング事業の連結売上高は、111億1千3百万円（前期比6億4千8百万円増加）となり、連結営業利益は、15億9千万円（前期比1億3千2百万円増加）となりました。

④その他

その他の事業につきましては、不動産事業などにおきまして、増収となりました。

この結果、その他の事業の連結売上高は、47億4千4百万円（前期比3億4千6百万円増加）となり、連結営業利益は、6億3千3百万円（前期比1億7千5百万円増加）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

資産、負債および純資産の状況

当連結会計年度末の総資産は、1,063億4百万円となり、前連結会計年度末に比べ159億2千9百万円減少となりました。増減の主なものは、現金及び預金の減少75億4千4百万円、受取手形及び売掛金の減少33億9百万円、商品及び製品の減少29億4千6百万円、原材料及び貯蔵品の減少27億9千9百万円等であります。

当連結会計年度末の負債は、591億1千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ148億9千9百万円減少となりました。増減の主なものは、長期借入金の減少70億4千7百万円、支払手形及び買掛金の減少66億1千万円、未払法人税等の減少10億2千8百万円等であります。

当連結会計年度末の純資産は、前連結会計年度末に比べ、10億2千9百万円減少の471億8千8百万円となりました。また、当連結会計年度末の自己資本比率は、44.4%になりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ、75億4千4百万円減少の38億6百万円となりました。

当連結会計年度末におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、64億6千万円（前年同期比38億1千8百万円減少）となりました。

これは主に、たな卸資産の減少額58億9千9百万円、減価償却費58億9千5百万円、売上債権の減少額33億9百万円などによる資金の増加に対し、仕入債務の減少額66億9百万円、その他営業負債の減少額9億3千6百万円などによる資金の減少があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、66億4千4百万円（前年同期比20億3千4百万円増加）となりました。

これは主に、固定資産の取得による支出65億7百万円などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、73億4千1百万円（前年同期比79億6千8百万円増加）となりました。

これは主に、短期借入による収入88億3千万円に対し、短期借入金の返済による支出82億万円、長期借入金の返済による支出70億6千8百万円などによるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
自己資本比率 (%)	36.3	37.8	40.1	39.4	44.4
時価ベースの自己資本比率 (%)	21.5	24.8	27.6	23.8	16.7
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	5.0	7.3	3.4	3.6	4.6
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	17.0	10.8	22.2	26.1	17.8

※ 自己資本比率：(純資産－非支配株主持分－新株予約権) / 総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額 / 総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債 / 営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー / 利払い

(注1) 各指標はいずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

(注2) 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式総数（自己株式控除後）により計算しております。

(注3) 営業キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。

有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち、利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

（4）今後の見通し

次期の連結業績予想につきましては、世界的に広がる新型コロナウイルスの感染症拡大の影響により、国内外の経済状況は厳しさを増すことが予想されるものの、当社の中核であるコークス事業において、コークスや原料炭の現在の市況動向や需給状況などを踏まえ、2020年度上期において、売上高は440億円、営業利益は11億円、経常利益は7億円、親会社株主に帰属する当期純利益は0億円を見込んでおります。

なお、2020年度通期連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響や、今後のコークス及び原料炭の市況動向等を踏まえ、開示が可能になった時点で、速やかに公表いたします。

（5）利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社の利益配分に関する基本方針につきましては、株主の皆様への還元ならびに将来の安定的な収益基盤確立のために必要な投資や財務体質強化のための内部留保水準について、業績および財務の状況を総合的に勘案したうえで適切に配分することとしております。

また、株主の皆様への利益還元につきましては、上記の方針を踏まえつつ、継続的且つ長期安定的な配当を実施することが重要な課題であると認識しております。

従いまして、当期の期末配当につきましては、当期の業績等を踏まえ、遺憾ながら2円減配の1株当たり1円といたします。

また、次期の配当につきましては、2020年度通期の連結業績が未定であることから、現時点では未定といたします。配当予想額の開示が可能になった時点で、速やかに公表いたします。

なお、新型コロナウイルス影響による景気低迷など、事業環境が劇的に変化する恐れもあり、状況によっては、株主の皆様への利益還元に大きな影響が生じることも想定されますので、今後の当社を取巻く経営環境・業績動向を慎重に見極めて決定することといたします。

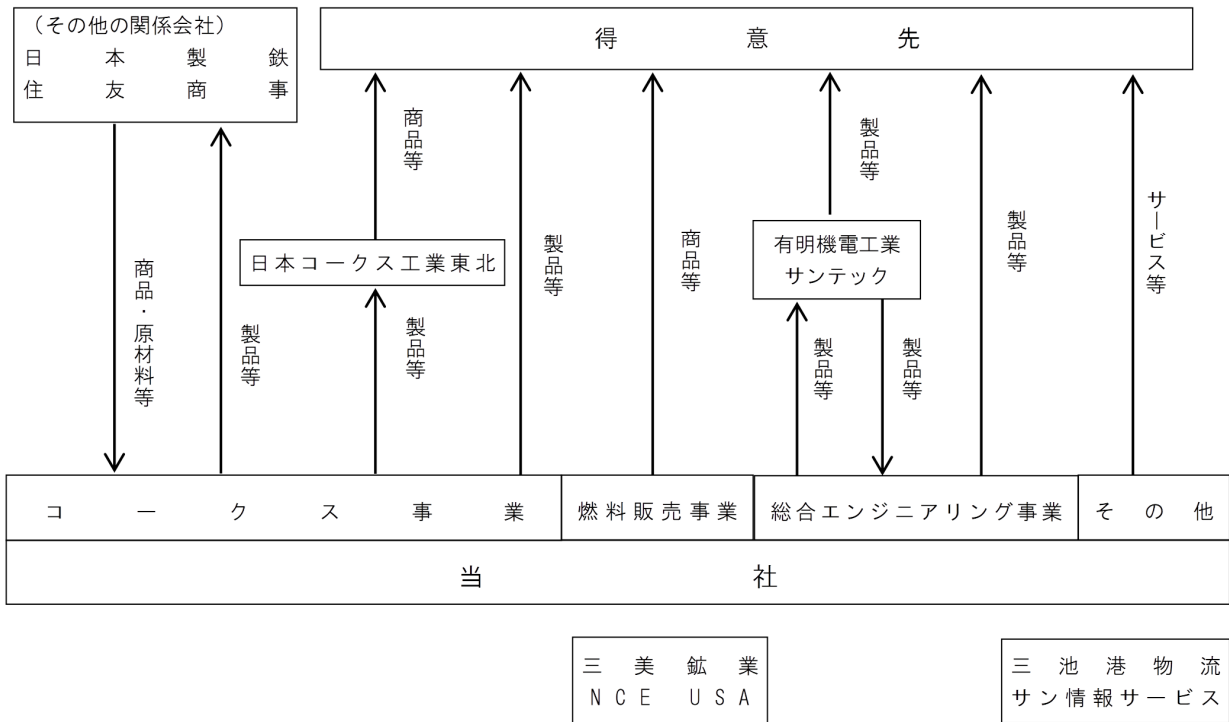
2. 企業集団の状況

当社グループは、当社および当社の子会社8社とその他の関係会社である日本製鉄株式会社・住友商事株式会社で構成されており、コークスの製造・販売、一般炭および石油コークスの仕入・販売並びにコールセンター事業、粉粒体機器・装置の製造・販売などを主に営んでおります。

当社グループの事業に係わる位置付けおよびセグメントとの関連、その概要図は次のとおりであります。

セグメント	主要な事業	主要な会社
コークス事業	コークスの製造・販売	当社、日本コークス工業東北 (会社総数2社)
燃料販売事業	一般炭および石油コークスの仕入・販売、 コールセンター事業	当社、三美鉱業 (会社総数4社)
総合エンジニアリング事業	化学装置・機器、一般産業用機器、プラントの製造・販売、産業廃棄物処理およびリサイクル	当社、有明機電工業、サンテック (会社総数3社)
その他	運輸荷役、不動産販売・賃貸、その他	当社、三池港物流、サン情報サービス (会社総数3社)

(注1) 各セグメントごとの会社数の算定において、当社は重複して数えております。



3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、今後につきましては、国内の同業他社の国際会計基準の適用動向等を踏まえ、国際会計基準の適用について検討を進めていく方針であります。

4. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,418	3,873
受取手形及び売掛金	13,936	10,627
商品及び製品	11,255	8,308
仕掛品	1,123	969
原材料及び貯蔵品	13,133	10,333
その他	522	1,409
貸倒引当金	△4	△4
流動資産合計	51,384	35,518
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	21,657	22,697
減価償却累計額	△14,322	△14,791
建物及び構築物（純額）	7,335	7,906
機械装置及び運搬具	87,536	89,390
減価償却累計額	△65,461	△68,202
機械装置及び運搬具（純額）	22,074	21,187
土地	35,201	34,595
建設仮勘定	377	1,072
その他	1,580	1,808
減価償却累計額	△1,082	△1,203
その他（純額）	498	605
有形固定資産合計	65,487	65,367
無形固定資産		
その他	504	455
無形固定資産合計	504	455
投資その他の資産		
投資有価証券	673	702
繰延税金資産	2,782	2,942
その他	1,409	1,327
貸倒引当金	△9	△9
投資その他の資産合計	4,856	4,962
固定資産合計	70,848	70,785
資産合計	122,233	106,304

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,920	14,310
短期借入金	7,068	7,677
1年内償還予定の社債	16	—
未払法人税等	1,327	298
賞与引当金	842	745
関係会社整理損失引当金	358	341
受注損失引当金	8	273
その他	5,965	4,954
流動負債合計	36,507	28,601
固定負債		
長期借入金	29,956	22,909
退職給付に係る負債	3,339	3,185
役員退職慰労引当金	58	52
環境対策引当金	3,142	3,354
関係会社整理損失引当金	75	53
その他	935	958
固定負債合計	37,507	30,513
負債合計	74,015	59,115
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,000	7,000
資本剰余金	1,750	1,750
利益剰余金	40,710	39,872
自己株式	△1,209	△1,209
株主資本合計	48,251	47,413
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	17	△27
為替換算調整勘定	159	—
退職給付に係る調整累計額	△210	△197
その他の包括利益累計額合計	△34	△224
純資産合計	48,217	47,188
負債純資産合計	122,233	106,304

（2）連結損益計算書及び連結包括利益計算書
（連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）	当連結会計年度 （自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）
売上高	121,246	107,408
売上原価	108,850	100,011
売上総利益	12,395	7,396
販売費及び一般管理費		
積揚地諸掛	1,012	1,041
給料及び賃金	827	877
その他	3,895	3,870
販売費及び一般管理費合計	5,734	5,788
営業利益	6,660	1,607
営業外収益		
保険差益	262	368
その他	110	100
営業外収益合計	373	469
営業外費用		
環境対策引当金繰入額	222	484
支払利息	395	362
その他	522	241
営業外費用合計	1,141	1,087
経常利益	5,892	989
特別利益		
固定資産売却益	49	105
その他	49	5
特別利益合計	98	110
特別損失		
固定資産除却損	1,007	783
その他	210	104
特別損失合計	1,217	887
税金等調整前当期純利益	4,774	212
法人税、住民税及び事業税	1,353	330
法人税等調整額	223	△146
法人税等合計	1,576	184
当期純利益	3,197	28
親会社株主に帰属する当期純利益	3,197	28

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	3,197	28
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△88	△44
繰延ヘッジ損益	35	—
為替換算調整勘定	6	△159
退職給付に係る調整額	9	13
その他の包括利益合計	△37	△190
包括利益	3,159	△162
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	3,159	△162
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	7,000	1,750	38,400	△756	46,393
当期変動額					
剰余金の配当			△886		△886
親会社株主に帰属する当期純利益			3,197		3,197
自己株式の取得				△452	△452
自己株式の処分			△0	0	0
連結範囲の変動					
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	－	－	2,310	△452	1,857
当期末残高	7,000	1,750	40,710	△1,209	48,251

	その他の包括利益累計額					純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	106	△35	152	△219	3	46,396
当期変動額						
剰余金の配当						△886
親会社株主に帰属する当期純利益						3,197
自己株式の取得						△452
自己株式の処分						0
連結範囲の変動						
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△88	35	6	9	△37	△37
当期変動額合計	△88	35	6	9	△37	1,820
当期末残高	17	－	159	△210	△34	48,217

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	7,000	1,750	40,710	△1,209	48,251
当期変動額					
剰余金の配当			△873		△873
親会社株主に帰属する当期純利益			28		28
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分					
連結範囲の変動			6		6
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)			-		-
当期変動額合計	-	-	△838	△0	△838
当期末残高	7,000	1,750	39,872	△1,209	47,413

	その他の包括利益累計額					純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	17	-	159	△210	△34	48,217
当期変動額						
剰余金の配当						△873
親会社株主に帰属する当期純利益						28
自己株式の取得						△0
自己株式の処分						
連結範囲の変動						6
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△44		△159	13	△190	△190
当期変動額合計	△44	-	△159	13	△190	△1,029
当期末残高	△27	-	-	△197	△224	47,188

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	4,774	212
減価償却費	6,401	5,895
減損損失	—	48
貸倒引当金の増減額(△は減少)	4	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	141	△96
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△89	△134
関係会社整理損失引当金の増減額(△は減少)	82	△39
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	2	△6
環境対策引当金の増減額(△は減少)	△43	211
事業整理損失引当金の増減額(△は減少)	△91	—
受注損失引当金の増減額(△は減少)	7	264
受取利息及び受取配当金	△31	△28
保険差益	△262	△368
支払利息	395	362
移転補償金	△49	—
為替差損益(△は益)	△0	△1
固定資産除却損	1,007	783
固定資産売却損益(△は益)	△37	△86
売上債権の増減額(△は増加)	△1,080	3,309
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3,270	5,899
その他営業資産の増減額(△は増加)	55	△137
仕入債務の増減額(△は減少)	1,633	△6,609
未払消費税等の増減額(△は減少)	503	△575
その他営業負債の増減額(△は減少)	199	△936
その他の固定負債の増減額(△は減少)	113	52
その他	98	9
小計	10,462	8,029
利息及び配当金の受取額	31	28
利息の支払額	△394	△363
法人税等の支払額	△252	△1,507
保険金の受取額	262	273
移転補償金の受取額	169	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,278	6,460
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△100	△37
定期預金の払戻による収入	1,148	37
固定資産の取得による支出	△4,644	△6,507
固定資産の除却による支出	△976	△599
固定資産の売却による収入	169	448
投資有価証券の取得による支出	△320	△0
投資有価証券の売却による収入	132	—
その他の投資の回収による収入	9	19
その他	△27	△5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,610	△6,644

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）	当連結会計年度 （自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	110,356	8,830
短期借入金の返済による支出	△115,274	△8,200
長期借入れによる収入	21,000	—
長期借入金の返済による支出	△14,087	△7,068
社債の償還による支出	△14	△16
自己株式の取得による支出	△453	△0
配当金の支払額	△886	△873
その他	△13	△13
財務活動によるキャッシュ・フロー	626	△7,341
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1	△0
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	6,293	△7,526
現金及び現金同等物の期首残高	5,057	11,350
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	—	△18
現金及び現金同等物の期末残高	11,350	3,806

（5）連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項）

連結の範囲に関する事項

連結子会社

連結子会社の数 6社

主要な連結子会社の名称

三池港物流株、有明機電工業株、三美鉱業株、サンテック株

（会計方針の変更）

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、取扱製商品・サービスの類似性等に基づいて事業を区分しており、各事業部門は主体的に、取り扱う製商品・サービスについて包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、製商品・サービス別のセグメントから構成されており、「コークス事業」「燃料販売事業」「総合エンジニアリング事業」の3つを報告セグメントとしております。

「コークス事業」は、コークスの製造・販売を行っております。「燃料販売事業」は、一般炭および石油コークスの仕入・販売やコールセンター事業を行っております。「総合エンジニアリング事業」は、化学装置・機器等の製造・販売およびメンテナンスや産業廃棄物の収集・運搬および処理等を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部売上高又は振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自2018年4月1日 至2019年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計額	調整額 (注2)	連結財務 諸表計上 額 (注3)
	コークス事業	燃料販売事業	総合エンジニアリング事業	計				
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	80,274	26,109	10,464	116,847	4,398	121,246	—	121,246
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	4	1,292	1,296	360	1,656	△1,656	—
計	80,274	26,113	11,756	118,144	4,758	122,902	△1,656	121,246
セグメント利益	4,618	1,712	1,458	7,789	457	8,247	△1,586	6,660
セグメント資産	70,573	9,087	8,844	88,504	15,168	103,673	18,560	122,233
その他の項目								
減価償却費	5,779	52	198	6,030	286	6,317	84	6,401
減損損失	—	—	—	—	—	—	—	—
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	3,028	17	499	3,545	1,431	4,977	59	5,036

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸荷役事業、不動産販売・賃貸事業等を含んでおります。

2. 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△1,586百万円は、セグメント間取引消去△20百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,566百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- (2) セグメント資産の調整額18,560百万円は、セグメント間取引消去△729百万円、各報告セグメントに配分していない全社資産19,289百万円であります。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない資産であります。

3. セグメント利益およびセグメント資産は、連結財務諸表の営業利益および資産合計と調整を行っております。

4. 有形固定資産及び無形固定資産の増加額には、長期前払費用が含まれております。

当連結会計年度(自2019年4月1日 至2020年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計額	調整額 (注2)	連結財務 諸表計上 額 (注3)
	コークス事業	燃料販売事業	総合エンジニアリング事業	計				
売上高								
(1)外部顧客への売上高	68,460	23,090	11,113	102,663	4,744	107,408	—	107,408
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	—	1	1,395	1,396	348	1,745	△1,745	—
計	68,460	23,091	12,508	104,060	5,093	109,153	△1,745	107,408
セグメント利益	△811	1,656	1,590	2,435	633	3,068	△1,460	1,607
セグメント資産	63,331	6,772	8,728	78,831	15,007	93,838	12,465	106,304
その他の項目								
減価償却費	5,189	51	226	5,467	339	5,807	88	5,895
減損損失	—	—	—	—	48	48	—	48
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	5,136	17	515	5,669	742	6,411	80	6,492

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸荷役事業、不動産販売・賃貸事業等を含んでおります。

2. 調整額は以下のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額△1,460百万円は、セグメント間取引消去21百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,481百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(2) セグメント資産の調整額12,465百万円は、セグメント間取引消去△483百万円、各報告セグメントに配分していない全社資産12,948百万円であります。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない資産であります。

3. セグメント利益およびセグメント資産は、連結財務諸表の営業利益および資産合計と調整を行っております。

4. 有形固定資産及び無形固定資産の増加額には、長期前払費用が含まれております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	165.68円	162.14円
1株当たり当期純利益金額	10.82円	0.10円

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していない。
2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりである。

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
純資産の部の合計額 (百万円)	48,217	47,188
純資産の部の合計額から控除する金額 (百万円)	—	—
(うち非支配株主持分 (百万円))	(—)	(—)
普通株式に係る期末の純資産額 (百万円)	48,217	47,188
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数 (株)	291,030,848	291,029,722

3. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりである。

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	3,197	28
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	3,197	28
期中平均株式数 (株)	295,493,761	291,030,274

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

5. その他

役員の異動

役員の異動につきましては、本日開示の「役員の異動に関するお知らせ」をご参照下さい。